

諏訪地方の経済概況速報

平成27年3月

(平成27年2月末調査)

平成27年3月26日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【 1月】	諏訪公共職業安定所管内	1.09 倍	0.12 ポイント	
手形交換高【 2月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	5,532 枚	△355 枚	
	金 額	6,387 百万円	△28 百万円	
	うち不渡り	枚 数	0 枚	△2 枚
	発生状況	金 額	0 千円	△12,500 千円
電力使用量【 2月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	76,509 MWh	△1.4 %	
	高圧電力計	102,488 MWh	△2.5 %	
	合 計	178,997 MWh	△2.0 %	
車庫証明取扱件数【 2月】(諏訪地方合計)		934 件	△4.4 %	
新設住宅着工戸数【H26年4月～27年1月】(諏訪管内)		869 戸	△29.1 %	

□本文は、当金庫の取引先約 130 社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

諏訪地方の2月の天候は降水量が、1945年の長野地方気象台の統計開始以降で5番目に少なかった。記録的な大雪に見舞われた昨年2月と対照的で、前年同月比では業況が好転した企業が多い。また、ガソリン価格が約4年ぶりに10130円台となり、物流や家計を助けた。製造業は取引先の動向によって差はあるものの、海外需要が堅調に推移していることなどから、受注が増加した企業が見られる。非製造業は消費増税の影響が残る中で、円安に伴う仕入価格の上昇もあって動きが鈍く、消費者の節約志向も続いている。雇用情勢は、全県や全国の有効求人倍率の高さに比べ、諏訪地方ではやや停滞感がある。

●製造業 「スマートフォン関連などで受注増」

輸送用機械関連で自動車部品は、メーカーや取引先の状況によって受注環境が異なるが、海外向けの受注が旺盛の一方で、国内向けは生産調整の影響が残る傾向が見られる。一部では生産能力向上のため継続的な設備投資を行う企業や、取引先が生産の国内回帰をする恩恵を受けて増産見込みの企業がある。重機関連の部品加工も安定推移している。工作機械や専用機などの一般機械は、自動車関連で一服感が見られるものの、スマートフォン関連の製造装置や機械設備などが活発化している。金属製品加工もスマートフォン関連からの受注を中心に、多くの分野からの受注があり繁忙な企業がある。例年受注が減少する時期の落ち込みが少なかった企業も見られる。電気機械は、仕入れ材料の値上げ要請で波があるものの、プリンター部品関連で受注増の企業がある。精密機械は、業界全体の量産物の受注が減少傾向となっている中で、高度な加工技術が必要な製品の受注は堅調に推移している。総体的には、小規模企業の受注が増えたり、何年も前から止まっていた製品が再び動き出したというケースもあり、今後の業況改善を見込む企業が増えている。

●商業 「就活向け衣料が分散化傾向」

大雪の影響を受けた前年同月に比べて来店客数が増加した企業が多いが、前年は消費増税前の駆け込み需要があった時期で、企業によって業況が分かれている。生鮮野菜や鮮魚の価格は安定していたが、原料不足や円安の影響で乾麺やコーヒーなどが高値となった。就職活動向け衣料は、企業説明会解禁日が遅くなったことで、これまでと購入時の肌感覚が違い、冬物のまとめ買いから夏物も想定した分散買いの傾向となっている。平均気温が前年同月より高く、暖房需要はやや減少した。自動車販売は、諏訪地方の2月の車庫証明件数が934件で、前年同月比43件、4.4%減少した。前月比では137件、17.2%増加した。

●観光・サービス業 「スキー場が順調な入り込み続く」

各地のスキー場は積雪に恵まれ、大きな交通障害もなかったことから、総体的に順調な入り込みとなった。日本海側の天候が悪い日が多かったため、白馬方面などから天気の良い諏訪地方のスキー場へ動いたと見られるケースもあった。また、冬の山歩きの人気が高まる中で、今季は駒ヶ岳や新穂高のロープウェイが事故などで運休したため、愛好者が諏訪地方に流れた。一方、上諏訪温泉は、海外旅行客の増加が顕著だった。円安の影響が大きく、今後も中国や台湾、東南アジアを中心とした予約が多くなっている。最近では香港からの富裕層の旅行客も増加傾向となっている。善光寺御開帳と立山黒部アルペンルートとの時期が重なり、予約競争が激しくなっている。

●建設業 「国、県関連の公共工事減少」

市町村からの2月の受注工事は、合計45件、787百万円となった。前年同月に比べ、件数は3件、契約金額は344百万円増加した。一方、県関係の2月の公共工事(地元業者受注分)は11件、145百万円だった。平成26年4月～平成27年2月の累計は132件、5,209百万円で、前年同期の累計比で件数は28件減少し、契約金額も117百万円減少(△2.2%)した。民間工事は、諏訪地方の1月の新設住宅着工戸数が66戸で、前年同月比27戸の減少(△29.0%)となった。平成26年4月～平成27年1月の累計比でも356戸の減少(△29.1%)となっている。

●雇用 「求職者数減少で、やや停滞感」

諏訪地方の1月の有効求人倍率は、前年同月を0.12ポイント上回り、前月を0.04ポイント上回る1.09倍となった。前年同月を上回るのは20ヶ月連続となった。ただ、求職者数が全体的に減少し、1月の新規求職者数が7年ぶりに1,000人を下回り、停滞感も現れている。長野県平均は1.23倍と7年11ヶ月ぶりの高水準となり、全国平均は1.14倍だった。諏訪地方の新規求人(全数)は1,675人で前年同月比164人増加(10.9%)した。要因別では「欠員補充」が増加し、「業務量増大」「創業・新分野展開」「継続する人員不足」は減少した。業種別の前年同月比の新規求人数は、「建設業」「その他サービス業」で増加し、「製造業」「生活関連サービス・娯楽業」で減少した。新規求職者数は934人で、前年同月比198人減少(△17.5%)した。1件10人以上の人員整理はなく、事業主都合による雇用保険資格喪失者は42人で、前年同月比12人減少し、前月比でも26人減少した。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	仕入れ材料の値上げ要請があるが、取引先の状況で春ごろから受注増の感触を持つ企業がある。スマホ向けは持ち直しの動きとなっている。
プリンター	在庫調整の影響で波はあるものの、海外需要の増加で機種によっては安定している。
コンタクター・リレー	繁忙な企業があり、在庫水準が低下していることなどで、今後の受注も好調推移を見込んでいる。

2. 輸送用機械

自動車	取引先の動向や取扱い部品によって状況が異なる。安定した数量を確保して繁忙な企業や生産調整の影響が続く企業、横ばいで推移する企業などがある。トラック関連は順調に推移している。
船外機	小型、大型エンジン向けを問わず、総体の受注量が増え、当面安定した推移が見込まれる。
その他	重機関連の部品加工は堅調に推移している。

3. 一般機械

工作機械・専用機	スマホ関連の製造装置や機械設備の動きが活発になってきている。検査装置や産業用ロボット、医療機器なども回復の動きがあり、徐々に好調な企業が増えている。
搬送用機械	大きな変動はなく、食品関係を中心に順調に推移している。大手企業の設備計画の動向にもよるが、今後も堅調な動きが続く見込みとなっている。
金型	海外向けの受注などがあり、回復傾向の企業が見られる。
ダイカスト	自動車関連などで持ち直しの動きとなっている。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの1月の生産台数は約253万台。前月比19.8%減少し、前年同月比では14.4%の減少となった。1月の出荷台数は国内出荷約28万台、海外出荷約208万台の合計約236万台となり、前月比27.2%減少、前年同月比では19.7%減少となっている。
レンズ	業界全体での量産の受注は減少しているが、研究機関向けレーザー用レンズ、医療機器用レンズ、監視カメラ用レンズは堅調。高難度な加工技術を有する企業に受注が集約する傾向となっている。

5. 繊維

ニット

原材料の値上がりが収益を圧迫しているが、高級品を中心に、例年より受注が増加傾向となっている。

6. 食品

寒天

スーパーや問屋向けは前年同月比増加傾向だった。北陸新幹線延伸や善光寺御開帳で、道の駅向けの増加が見込まれている。

味噌

季節要因とともに、原材料の価格上昇が収益に影響する状況が続いている。

7. 製材

諏訪地方の1月の木造新設住宅着工戸数は54戸で、前年同月比31戸減少(△36.5%)した。

8. 建設

公共工事

2月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所10件、林道治山工事関係1件の合計11件で、契約金額は145百万円だった。平成26年4月～平成27年2月の累計は132件、5,209百万円となり、前年同期累計を下回った。国、県関連の公共工事は、大口工事がほぼ終了し、年度末にかけて、既存インフラの修繕補修など小口工事を消化する状況となっている。

市町村からの2月の受注工事は、諏訪市の上諏訪中学校屋内運動場整備事業の大型案件があり、建築工事4件575百万円、土木工事及び下水道工事32件、177百万円、その他工事9件35百万円の合計45件787百万円となった。

民間工事

諏訪地方の1月の新設住宅着工戸数は66戸で、前年同月比で27戸の減少(△29.0%)となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は25戸減少の38戸、「貸家」は1戸減少の26戸、「分譲」は1戸減少の2戸となった。平成26年4月～平成27年1月の累計は869戸で、前年同期累計比では356戸の減少(△29.1%)となっている。

長野県内の1月の新設住宅着工戸数は769戸で、前年同月比17.0%減少した。前年同月比の利用関係別では、「持家」が380戸で34.6%減少、「貸家」は248戸で17.0%増加、「給与」は74戸で1750%増加、「分譲」は67戸で48.1%減少した。総体的な住宅着工は減少しているが、住宅新築の問い合わせはあり、上向きの感触を持つ企業がある。一方で、ハウスメーカーが旺盛で、地元工務店に受注が少ないという声もある。

9. 商業

衣料	就活向け衣料は、売り手も買い手も戸惑いが見られ、手探り状態。1年通してみないと動向が分からないという声もある。卒業式や入学式向けのスーツなどは堅調に推移した。
食料品	食品関連の値上げが続き、今後を懸念する声がある。大型店の出店や閉店があった地域では、店舗間競争もあり、一部で価格を据え置き、節約志向が高まる消費者に低価格をPRする取り組みも見られる。
家電製品	パソコンは昨年同時期に、消費増税前と基本ソフトサポート終了に伴う駆け込み需要があり、反動が大きい。スマホの普及で、特に若年層への販売台数が伸び悩んでいる。
自動車	県内の2月の新車新規登録台数は、登録車が7ヶ月連続で減少し、軽自動車も2ヶ月連続で減少した。全体では前年同月比1,798台減少(△14.8%)の10,315台で、2ヶ月連続で減少した。
ホームセンター	新生活用品の動きはあるが、前年の大雪関連の売上に比べ低調だった。

10. 観光

上諏訪温泉	2月の宿泊人数の前年同月比は100%台～160%台。前年は大雪で大幅減少しており、一昨年同月比では、ほぼ横ばい。中国の春節による宿泊客数は当初予想以下だったが、海外からの旅行客は好調を維持している。
蓼科・白樺湖・車山等	スキー場はファミリー客を中心に入り込みは好調。来客数や売り上げは、前年同月比で増加したが、例年比では横ばいか微増の施設が多い。
下諏訪温泉	御嶽山噴火の風評被害などのマイナス要因で、業況回復に時間がかかっている施設もあるが、前年より売上が増加した施設もある。
諏訪大社	上社・下社合わせた2月の参拝者数は約2万9千人で、前年同月比では約6千人の増加(29.5%)となった。

●企業からのコメント

- ・ 次の次の仕事まで埋まる展開が続き、得意先にもけっこう図面が来ていることから、先も良さそう(金属製品製造業)。
- ・ 設備関係は好調だが、いずれも海外工場への投資であり、国内工場の稼働率向上に結びつくかは分からない(一般機械製造業)。
- ・ 円安で一部製品に国内回帰の動きがあるとされるが、大きな動きにはなっていない(輸送用機械製造業)。
- ・ 今後、御柱祭前の駆け込みが期待されるが、昨年の増税前の駆け込みで落ち着いてしまった感がある(建材卸業)。
- ・ 4月からの軽自動車税の引き上げに対する顧客の目立った動きはない(自動車販売業)。